

平成 21 年 4 月 30 日
農林水産省改革推進室

挨拶の実施状況と改善策について

1 調査日時等

4 月 8 日（水）、21 日（火）及び 22 日（水）の 9 時 10 分～9 時 30 分まで、本省正面玄関において、農林水産省改革推進室長が観察。

2 観察結果

- （1）4 月 8 日（水）は、守衛に自ら積極的に挨拶した職員や声に応じて「おはようございます」と言った職員はごくわずか、会釈を返した職員が概ね半数程度、残りの職員は無言でゲートを通るのみ。（※この現状については、4 月 13 日付の省改革 DM で全職員に紹介し、挨拶の励行を呼びかけ。）

また、比較的若手の職員による挨拶等の頻度が高い。

- （2）4 月 21 日（火）は、守衛に自ら積極的に挨拶等をした職員、会釈を返した職員は増加。ただし、時間帯によって態様が異なり、

① 9 時 20 分より前の比較的混み合わない時間帯は、大多数の職員が挨拶等を実施。

② それ以後、大多数の職員の始業時間である 9 時 30 分までの間の混み合う時間帯では、挨拶等を行った職員はわずか。

この際、年齢層別に特段の差は見受けられなかった。

- （3）4 月 22 日（水）は、前日とほぼ同様の傾向。特に気付いた点としては、

① 入り口のゲートで詰まる職員が前にいると、途端に挨拶の頻度が落ちる。

② ヘッドホン・イヤホンを着用している職員の挨拶頻度が低い。

③ 守衛の声に挨拶・会釈を「返す」人は多いが、自ら積極的に声を「かける」職員は少ない。

3 分析

- (1) 省改革DM後に人数が増えたことは、自らの行動を顧みる気付きの機会があれば、職員の行動が変わることの証左。
- (2) 一方で、些細なことでも他のことに気をとられていると、挨拶がおろそかになりがち。また、出勤時間がギリギリだと、心の余裕を失い挨拶をしない傾向。
- (3) また、周囲の目を気にしてか、自ら声をかけないなど積極性に欠ける傾向が顕著。

4 対応策

職員に挨拶の重要性を訴えるとともに、出勤態度の改善を促すことを目的として、以下のとおり、「さわやかな一日は「おはよう」から～朝のあいさつ強化週間」を実施することとしたい。

(1) 内容

- ① 本省全職員が内外の者を問わず、朝の挨拶を積極的に行う。
- ② 本館正面玄関等の各玄関において、大臣官房秘書課及び農林水産省改革推進室の職員が、登庁する他の職員等に対し挨拶の声かけを行う。また、挨拶する習慣の徹底や余裕をもった登庁などを奨励するチラシの配布等を行う。
- ③ 各部局は、挨拶励行の一層の推進に向け、それぞれ工夫した取組を行う。(例えば、管理職が、出勤簿が置かれている所で率先して挨拶の声をかける。)

(2) 期間

平成21年5月11日(月)～5月15日(金)

(実施時間：毎朝午前9時10分～午前9時30分)